

手洗い！重要です



夏風邪にご注意！ 体調管理はしっかりと

令和元年 7月 31日

富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)

(0766-56-8142 細菌部)

(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第30週分・7月22日～7月28日)

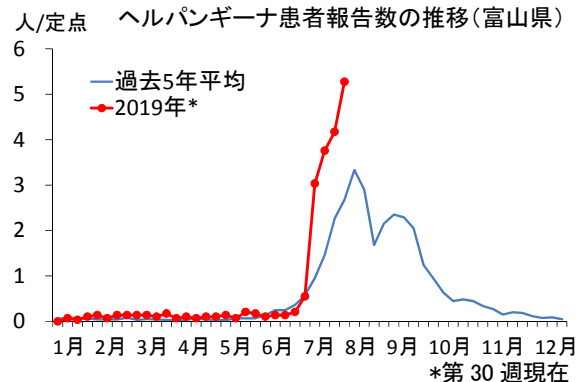
《 インフォメーション 》

●ヘルパンギーナ

今週、県内のヘルパンギーナの報告数が定点医療機関あたり 5.28 人となり、先週 (4.17) から増加しました。この疾患は、夏季に報告数が増加する傾向があり、夏風邪の一つとして知られています。今年も、報告数が 6 月下旬から増加しています (右図)。年齢別では、患者の約 9 割が 5 歳以下となっており、小さなお子さんのいる家庭や施設では、感染予防を心がけましょう。

ヘルパンギーナは、発熱とのどの痛みを特徴としたウイルス感染症です。突然 40 度近くの高熱が出て、のどの奥、扁桃の上あたりに小さな水疱がいくつかでき、その周囲が赤くなります。水疱はしばらくするとつぶれて、潰瘍になります。これがしみて痛むことから、十分な飲食ができずに脱水状態になることがあります。熱は 2～3 日で下がり、潰瘍も 1 週間程度で治ります。症状の経過は良好な疾患ですが、発熱時にけいれんを伴う場合があります。

原因ウイルスは、コクサッキーウイルスなど複数存在し、患者ののどや鼻の分泌物、便に含まれています。**症状が無くなった後も、2～4 週間は便からウイルスが検出されることがあります。**次のことに注意して感染を予防しましょう。



**おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石けんと流水で手を洗う。
家庭や保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。**

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 2件 (①第29週診断分：20歳代、男性 ②20歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①10歳未満、女性 ②40歳代、男性
①②共に O157, VT1VT2)

四類感染症 レジオネラ症 1件 (70歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 梅毒 2件 (①第29週診断分 ①②共に 30歳代、男性、無症候)

破傷風 1件 (40歳代、男性)

百日咳 16件 (①②第29週診断分：10歳未満 ①男性 ②女性

③④10歳未満、男性 ⑤⑥10歳未満、女性

⑦～⑨10歳代、男性 ⑩～⑮10歳代、女性 ⑯80歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	手足口病	15.86 (↓)	20.07
2位	ヘルパンギーナ	5.28 (↑)	4.17
3位	感染性胃腸炎	3.21 (↓)	3.41
4位	伝染性紅斑	2.10 (↑)	1.17
5位	RSウイルス感染症	1.41 (↑)	0.66
6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10 (↑)	0.83

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第30週 令和元年7月22日～令和元年7月28日）

分類	疾患	今週報告分（第30週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1			1	11	8	28	23	32	102
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1	2		1	4	1	6	12
四類感染症	E型肝炎							2		1			3
	A型肝炎							1					1
	つつが虫病							1					1
	レジオネラ症					1	1	2		10	6	13	31
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3	1		4
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	5	10
	後天性免疫不全症候群											4	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24
	水痘（入院例）							1	1			5	7
	梅毒						1	1		2	1	13	16
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風			1			1			1			1
	百日咳			9	2	3	14	1	4	45	46	86	182
	風しん								1			3	4
	麻しん									1	2		3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			4	2	6	1,427	912	3,154	1,691	3,682	10,866	
				0.31	0.13	0.13							
	RSウイルス感染症		1	5	11	24	13	26	60	24	126	249	
			0.33	0.63	2.75	2.40	1.41						
	咽頭結膜熱	8		2	3	3	142	20	218	50	176	606	
		2.00		0.25	0.75	0.30	0.55						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		8	6	15	32	103	108	514	227	919	1,871
		0.75		1.00	1.50	1.50	1.10						
	感染性胃腸炎	16	10	18		49	93	896	717	1,114	448	2,774	5,949
		4.00	3.33	2.25		4.90	3.21						
	水痘							18	13	42	11	227	311
	手足口病	27	57	176	41	159	460	90	172	873	231	996	2,362
		6.75	19.00	22.00	10.25	15.90	15.86						
	伝染性紅斑	12	6	10	3	30	61	102	50	393	94	441	1,080
		3.00	2.00	1.25	0.75	3.00	2.10						
	突発性発しん	1		4	1	1	7	23	27	136	30	118	334
		0.25		0.50	0.25	0.10	0.24						
	ヘルパンギーナ	14	29	37	18	55	153	98	86	165	46	175	570
		3.50	9.67	4.63	4.50	5.50	5.28						
	流行性耳下腺炎	1				2	3	2	7	8	1	19	37
		0.25				0.20	0.10						
	急性出血性結膜炎										12		12
	流行性角結膜炎							1	9	24	28	7	69
細菌性髄膜炎											4	4	
無菌性髄膜炎							2				1	3	
マイコプラズマ肺炎								2	2			4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）							42	42	52	98	101	335	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。